

くつろぎタイム

ラジオ英会話とウォーキングとスムージー、毎朝のルーティン・ワークをこなしてメリハリのある生活に心がけています。

東日本興業株式会社(青葉区一番町)
取締役会長

まつざわ しんすけ
松澤 伸介 氏

昭和21年11月19日

鶴岡市生まれ

血液型B型



昭和45年3月慶應義塾大学法学部法律学科を卒業後、同年4月東北電力(株)に入社。財務課長、人財部部長、広報・地域交流部長、福島支店長などを歴任し、(社)東北経済連合会副会長に。退任後、平成24年東北電力の企業グループで不動産・保険・リース・ホール事業を行う東日本興業(株)取締役社長に就任。26年6月より現職。

自身の気質をGNN(義理と人情と浪花節)と評する松澤さんの好きな言葉は、「雲悠悠々水瀉々」。「雲がゆったりと流れ、水が静かに流れている様を表現した言葉らしいのですが、何かホッとする情景だなと思います。何かホッとされるとこれをあげています。私もこの言葉のように、おおらかで、ゆつたりした人間になりたいと思っていますが、実際は難しいですね」と話す。

最近、登山に出かけられたと伺いましたが。

年に一回、何組かの夫婦で国内旅行へ出掛けていまして、その一環で今年は山に行こうとなったんです。登山が趣味というほどではないのですが、晴れた日の山登りは最高です。先週、木曾駒ヶ岳(長野県)の一つ前の中岳に登ってきたのですが、その日もとても良い天気でした。20キロくらい離れた御嶽山だけでなく、富士山までも見ることができたんですよ。

中岳のような3,000メートル級の山の頂上から素晴らしい景色をのぞむことができたのも、誘ってくれた方々

のおかげなんです。実はその方々との出会いは偶然だったのです。

私が東北電力に勤務していたとき、勤続30年の慰労ということで、一週間の特別休暇をいただきました。当時、家内は海外旅行の経験がなかったこともあって、8日間のスペイン旅行に行くことにしたんです。その旅先で、私と同じような理由でツアーに参加した同じ年代ぐらいのご夫婦4組と意気投合しましてね。その方々と「これきりというのも寂しいですよ」ということで、横浜、千葉、大阪そして仙台から皆が合流して、一年に一度旅行を楽しむようになったんです。今年でもう17年になりますから、17回目の旅行でした。

仕事関係のお付き合いやご近所付き合いとは、また違った良さがあります。一年に一回持ち回りの幹事が決めた場所に出向きお会いして話をするのは結構楽しいものです。

普段のお休みの日はどのような過ごし方をしていますか。

休日の楽しみは、今はゴルフですね。道具にも凝っていますが、その割には上手になりません。腕を変えるしかないかと(笑)。忙しさなどでできなかった時期もありますが、最近は何年にも一回はプレーを楽しんでいます。

家にいるときは庭いじりです。庭で野菜や花を育てるのも楽しいですが、草むしりが一番です。成果がすぐ目に見えますから……。何も考えずに集中で

きますので、無心になれます。

健康管理のために、気をつけたいことはありますか。

血圧が少し高めなので、塩分を摂り過ぎないように、醤油を酢で割っていることくらいでしょうか。最近、ラグビーの日本代表、五郎丸選手で話題になった「ルーティン」で言いますと、私にも毎朝のルーティンがあるんですよ。朝の6時15分から30分間は、ラジオ英会話。英会話を始めたのは、国連防災世界会議の仙台開催が決まったことが大きかったですね。外国の方と目が合っただけで逃げようでは…と思ったのがきっかけでした。何とかこの一年間、続けてきたのですが、聞く方は相変わらずダメですね(笑)。

ラジオ英会話を終わるとすぐに散歩に出ます。40分間、5,000歩ほど歩いて、家に戻ると、庭で育てたパセリとニンジンを入れたスムージーが待っています。朝食を食べて、出勤前に今度は生野菜ジュースを飲む…というのが私のルーティンです。一日にメリハリができるような気がします。

今後、挑戦してみたいことはありますか。

スポーツは何でも大好きですが、ゴルフの他に会社の仲間とスキーにも行きます。若い社員についていくのがやっとなのですが、テニスに挑戦したこともありました。また、絵を鑑賞するの

好きで、いずれは自分でも油絵か水彩画をやってみたいと思っています。今はまだ、人気のアニメキャラクターを、孫に描いてあげる程度ですが、カルチャーセンターなどに通っている先輩方を見ていると「いいなあ」と思いますよ。

また、文章を書くことも嫌いではないので、将来、家族や友人との出来事をエッセー風に書いてみたいという気持ちもあります。

御社の「電力ホール」が、7月25日に累計来場者1,000万人を達成しました。いまの心境と今後の抱負をお聞かせください。

昭和35年8月4日に「電力ホール」がオープンしてから55年が経過しました。この間、たくさんの方々にご利用していただきました。その積み重ねが「電力ホール」来場者1,000万人なのです。電力ビル建設当時は、このビルが仙台駅から見えるくらいに、周りには何も無い時代でした。

そういう時代でしたから、市民が文化・芸能に触れる機会もほとんど持てなかったようです。ですからこのビルをつくるにあたって、そういうことに貢献できるようなものをつくりたいという議論が、東北電力の中で活発に行なわれ、その思いがこのビルの中に取込まれたと聞いています。それが「電力ホール」です。交通の便が良い場所にあることから、長年本当に皆さんにご活用いただいていると自負していま

す。また、平成のはじめ、1,200席あった客席を1,000席に減らして通路を広くすることで、お客さまにゆったりと催しを鑑賞していただける工夫もしています。

昨年はホールの天井の耐震工事に合わせ、この大規模なホールとしては東北では初めて、全国的にも珍しいのですが、ホール照明のLED化工事を実施しました。照明の省エネだけでなく、熱をあまり出さないことから、空調の省エネにもつながり、照明学会の照明普及賞を頂戴することもできました。

これからも地域の皆さんに気軽に活用していただける施設であり続ける努力を惜しまず、東北の文化・芸術、芸能に貢献していきたいと思っています。



スペイン旅行で意気投合した皆さんと木曾駒ヶ岳へ行った際の一枚。毎年、松澤さんご夫妻も合わせた4組のご夫婦で幹事を変えながら国内旅行を楽しんでいるそう。

街

やさしい気持で暮らせるように……。

たくさんの方が集まり、働き、笑い、泣き、そして暮らしてゆく空間、『街』…。そこで人々が明るく、健康に、そして何よりやさしい気持で暮らせるように、快適な都市環境をつくって行かなくては…。私たちはそう考えています。私たちは青葉環境保全です。

より良い環境をめざす
AOBA 青葉環境保全

本社/仙台市若林区蒲町19-1

電話(022)286-3161(代)